

'98ジムカーナグランプリ 第2戦 愛知GP

REPORT/小林力
PHOTO/小林力、西村徹哉



期日/1998年4月12日
会場提供/旭自動車学校(津島市)
主催/愛知GP実行委員会
協力/TSRA、GRA、イトーモータース
協賛/カストロール(株)、住友ゴム工業(株)、城東工業(株)、(株)オールケーエキセル、(有)ラベン、(株)資工合、(株)オールエスタイチ、(株)アフアムジャパン、日本自転車協会

わずか1分半から2分で回るコースに全神経を集中し、ごまかしの効かないライディングテクニックを競う……それがジムカーナの魅力。コースは自動車学校などを利用し、スラロームやS字、クランクなどをつないで設定され、ここを1台ずつ2回走って良い方のタイムで順位を決定します。普段乗っているバイクで十分楽しめます。公道で通用するテクニックが身に付く参加型の

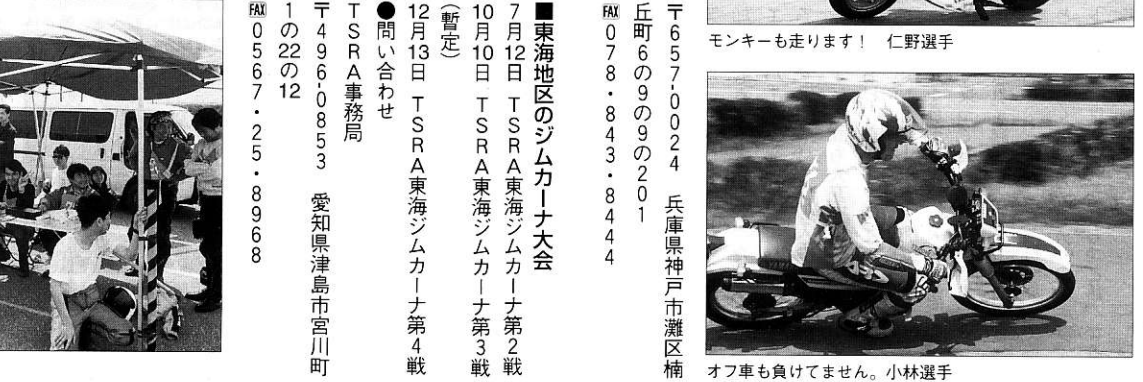
モータースポーツとして根強い人気を持っています。
今回は、関西を中心として各地を転戦しているGRA(ジムカーナ・ライダーズ・アソシエーション)のジムカーナグランプリ第2戦、北は新潟・東は埼玉・南は佐賀と非常に遠くからの参加者も集まりました。総勢77人の選手には新婚ホヤホヤのカップルが3組もあり、往年のシングルライダー(?)とのクールさとは対照的な熱い戦いも見られました。
あまりの参加者の多さに若干進行が遅れつつも、開会式・競技説明・準備体操とプログラムは進められます。まずは慣熟歩行、ジムカーナではバイクに乗っての練習走行ではなく一発勝負の競技というのが一般的。このため、ミスコースを防ぐためにもライダーは受付時に配られたコース図をもとに歩いてコースを確認。当然ベテランになると各セクションをつなぐライン取りも研究するわけで、中には竹ぼうきで自分のライン上の砂を掃除する違いのわかる男のライダーも見受けられます。
さあ、いよいよ競技開始! スタート前には8の字のウォーミングアップができませんが、若さまってここで既に転倒する選手もいます。タイム計測には本格的に光電管、場内放送のDJが軽妙なおしゃべりと共に各選手のタイムを発表、見ているだけでもレース気分が盛り上がります。
昼食の後は2回目のタイムトライアル。1回目では様子がイマイチつかめなかった



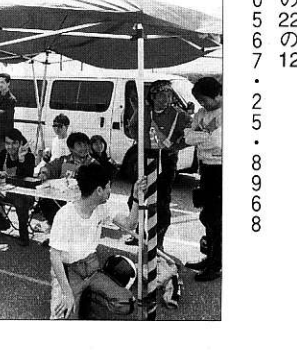
次のパイロン目がけて……。E-X-4と横江選手

初心者も、究極の走りができず、納得のいかないベテランも、ここで一発決めれば挽回できると思いきや、少しでもタイムを詰めようと欲張りすぎてゴール間近のフリーターで転倒者が続出、やはり実力以上の無理をしてはいけません。
競技が終わり、結果集計の時間を利用してギャラリーも参加できるアトラクションが行われます。今回は名付けて「バイク・ボブスレー」。8人1チームで2人が1台のバイクにまたがり、エンジンはかけずにチームメイトの人力で特設コースを回るタイムトライアル。使用するバイクは250cc以上と、競技以上に厳しいレギュレーションが課せられ、適当なバイクが調達できず、十数年前のナナハンで参加のチーム有り、軽いけれどハンドルの切れないレプリカで苦戦するチームありと、競技で神経の昂ぶった選手達にも思わず笑顔がこぼれます。
最後に表彰・閉会式。今回目立ったのは、初出場でクラス1位と3位に入ったモンキーの2人組。
「モンキーでも結構イケるんですね! もっと練習してまた出ます」
とすっかりフリークになったようです。表彰は競技とアトラクションの各々で行われ、様々な商品を手に入れた選手達は三々五々会場を去って行きました。

●ジムカーナグランプリの問い合わせ
GRA事務局



モンキーも走ります! 仁野選手



オフ車も負けてません。小林選手



参加者全員で運営。これがジムカーナ流

〒6570024 兵庫県神戸市灘区楠丘町6の9の201
078-843-8444
■東海地区のジムカーナ大会
7月12日 TSRA東海ジムカーナ第2戦
10月10日 TSRA東海ジムカーナ第3戦(暫定)
12月13日 TSRA東海ジムカーナ第4戦
●問い合わせ
TSRA事務局
〒4960853 愛知県津島市宮川町1の22の12
0567-25-8968